

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. **706** August 2017

Special Issue : Modern and Contemporary History of Koreans and Local Society in Tsushima : Rethinking the Character of Bordering Area in Colonial Rule and Cold War.

Introduction to the Special IssueSHIN Chang-u

Relation between Tsushima and Korean Peninsula in the Meiji Period
.....HIWA Mizuki

Koreans in Tsushima during the Colonial Period
.....SHIN Chang-u

Residence and Movement of Koreans Related to Tsushima
in the Postwar Period (1945-1960s) MIYAMOTO Masaaki

Five Years' History of Koreans in Tsushima After the Colonial Liberation
.....CHONG Young-hwan

Oral History : Korean's Life and Movement in Tsushima in the Period of
Colonial Liberation —— An Interview with SHIN Jung-su

Book Review

KIM Sung-won, *Selfare State in Japan and Korea* MADONO Hitomi

ARITA Shin, *The Sociology of Reward Inequality Among Employment Positions*
.....YOKOTA Nobuko

Monthly Research Meeting

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site : <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

e-mail : oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人
法政大学大原社会問題研究所
〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価1,000円(本体926円)
年間購読 12,000円(税込)

大原社会問題研究所雑誌

706 2017.8

【特集】近現代の対馬における朝鮮人と現地社会

特集にあたって	愼蒼宇	1
明治期の対馬と朝鮮半島	檜皮瑞樹	4
植民地期の対馬における朝鮮人	愼蒼宇	20
日本敗戦以降の対馬をめぐる朝鮮・韓国人の在留・移動	宮本正明	44
対馬在留朝鮮人の「解放五年史」	鄭榮桓	66
証言 解放前後の対馬における朝鮮人の生活と運動 ——辛正寿氏に聞く		90

■書評と紹介

金 成垣著『福祉国家の日韓比較』	真殿仁美	99
有田 伸著『就業機会と報酬格差の社会学』	横田伸子	105

月例研究会 110

所 報 2017年4月

発行／法政大学大原社会問題研究所

発売所／法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

一年間に起きた社会・労働分野の変化と
課題がわかる貴重なデータブック

最新2017年版 第87集

日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

—おもな内容—

- 序章 政治・経済の動向と労働問題の焦点
 <特集1> 子どもの貧困対策
 —制度化の経緯と今後の課題
 <特集2> 運輸産業の安全と労働問題
 —貸切バス事業を中心に

- 第1部 労働経済と労働者生活
 第2部 経営労務と労使関係
 第3部 労働組合の組織と運動
 第4部 労働組合と政治社会運動
 第5部 労働・社会政策

<付録> 労働組合の現状 / 労働組合名簿 / 統計・事項索引 / 年表

ハーバード大学歴史学部教授(日本近現代史、労働史)

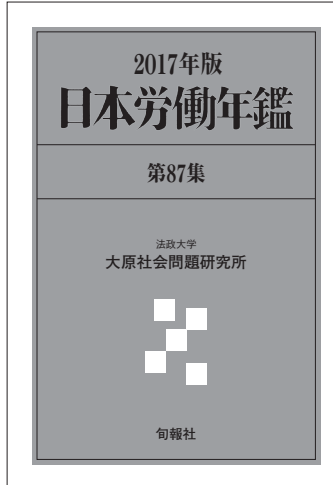
アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心を呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦
コメント

本年鑑5つの特徴

- ① その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ② 特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③ 政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④ 理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤ 社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。



本体15,000円+税
A5判・上製

旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F
 電話(03)5579-8974 FAX(03)5579-8975 http://www.junposha.com/

日本労働研究雑誌

No.685 2017年8月号

定価 852円+税 年間購読 11,040円(税込)

特集「障害者雇用の変化と法政策・職場の課題」

- | | | |
|------------|---|----------------|
| ■ 提言 | 障害者雇用のあり方 | 松為 信雄 |
| ■ 論文 | 障害者雇用進展期の雇用管理と障害者雇用促進法の合理的配慮 | 眞保 智子 |
| | 障害者差別禁止・合理的配慮の提供に係る指針と法的課題 | 石崎由希子 |
| | 法定雇用率制度の比較法的考察——ドイツ法を参考として | 小西 啓文 |
| | 障害者雇用に関する法制度の経済分析——企業の意思決定と社会的余剰による検討 | 両角 良子 |
| ■ 紹介 | 発達障害者の就労上の困難性と具体的対策——ASD者を中心に | 梅永 雄二 |
| | メンタルヘルス不調者の職場復帰支援からみた精神障害者雇用の取組と課題 | 田村みつよ
宮澤 史穂 |
| ■ 書評 | 浅倉むつ子著『雇用差別禁止法制の展望』 | 長谷川 聡 |
| | 諏訪康雄著『雇用政策とキャリア権——キャリア法学への模索』 | 小嶋 典明 |
| ■ 論文Today | Hiroshi Ono, Kristen Schultz Lee 著
『Redistributing Happiness: How Social Policies Shape Life Satisfaction』 | 橋本 俊詔 |
| | スペイン労働市場の分断：立法は二重構造の解消に向かっているか？ | 高橋 奈々 |
| ■ フィールド・アイ | (ニューヨークから③) | 黒澤 昌子 |

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23

☎ 03-5903-6255

労働の科学

Digest of Science of Labour

2017年7月号
72巻7号

7

定価 1,200 円(税込)
年間購読 12,000 円(税込)

【特集】安全運行力を高める労務・健康管理最前線

- ◆ 巻頭言 新「事業用自動車総合安全プラン」への視座 平井隆志
- ◆ 安全運行サポーター協議会が目指すもの 酒井一博
- ◆ 「体調予報」の取り組み 北島洋樹
- ◆ 安全運行を支えるドライバーの健康対策 新藤幹雄
- ◆ デジタコを活用した労務管理のこれから 増田一英・佐保博樹
- ◆ バス事業における輸送現場の現状と課題 船戸裕司
- ◆ 貨物事業における輸送現場の現状と課題 藤原秀行

- ◆ 労研アーカイブを読む・31 労働科学への旅 (29) 毛利一平
- ◆ 凡夫の安全衛生記・10 福成雄三
- ◆ につぼん仕事唄考・46
炭鉱仕事が生んだ唄たち (その46) 前田和男
- ◆ 報告：日本人間工学会第58回大会 松田文字
- ◆ 織という表現・7 阿久津光子
- ◆ Talk to Talk 肝付邦憲
- ◆ 口絵：CSRがつなぐ地域社会と中小企業・43
さいたま市CSRチャレンジ企業認証企業
..... 有限会社プラナエンジニアリング

〒151-0051 公益財団法人 大原記念労働科学研究所
 渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12
 桜美林大学内3階 TEL: 03-6447-1435 (事業部)
 FAX: 03-6447-1436
 HP: http://www.isl.or.jp/